

日田市

環境課

1. 再生可能エネルギーの普及促進

● 本市の豊富な再生可能エネルギーを可能な限り活用し、地球温暖化対策に貢献するため、積極的な取組を行っています。

①小水力発電

● 日田市では、豊富な「水」資源を有効に活用できる小水力発電設備の導入により、再生可能エネルギーの活用を図っています。



小水力発電設備の設置（小ヶ瀬井路） 小水力発電設備の設置（鏡坂公園）

● 市の浄化センター等3箇所に設置し、施設内での使用や付近の街灯等に活用しています。

②風力発電

● 合併前の旧前津江村が観光施設内に設置した風車により、発電を行っています。発電した電気は施設内で使用され、余剰分は売電しています。

③公共施設への再生可能エネルギーの導入

● 小中学校や公共施設において、太陽光発電設備等の導入を進めています。

● また、浄化センターにおいては、下水道汚泥処理に伴い発生するメタンガスを有効利用して、マイクロガスタービン発電機による電力利用を行っています。

2. 環境教育の推進

● 幼児期から環境への探究心・好奇心を育成するための市内幼児環境教育支援事業や、小学生を対象に環境関連施設等を見学する「子ども環境バスツアー」を行っています。

3. 学校版環境ISO認定制度

● 次代を担う子どもたちの環境教育の重要性から「日田市学校版環境ISO認定制度」を創設し、全ての小中学校において、認定制度による管理運営方法（PDCAサイクル）を用いた環境に良い学校づくりの取組を推進しています。

● また、認定校の子どもたちが一堂に会し情報交換及び意見発表を行う「子ども環境会議」を開催し、環境に対する意識と活動の向上を図っています。

4. 電気自動車の導入

● 日産自動車株式会社の「電気自動車活用事例創発事業」により、電気自動車を1台、平成28年3月から3年間無償で借り受け、公用車として使用しています。



5. 緑のカーテンの推進

● 地球温暖化防止の啓発活動の一環として、市庁舎に「緑のカーテン」を設置して、市民への周知を行っています。

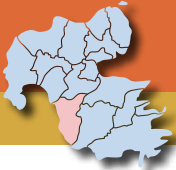
6. ひた市民環境会議の取組

● 日田市では、市民・事業者・行政の三者で構成された「ひた市民環境会議」を設置し、環境保全活動を展開しています。現在、「エネルギー部会」「水と森部会」「ごみ・リサイクル・景観部会」の3部会に分かれて、毎月1回の定例会のほか、それぞれ実践活動を行っています。

● エネルギー部会においては、自然エネルギーの啓発の一環として、自然エネルギーマップの作成、電力自由化に関する講演会開催や、市内のイベントで「自然エネルギーコーナー」を開設するなど、啓発活動を行っています。



※日田市では、毎年、日田市環境白書を刊行し、環境の現状や環境保全の取組等について公表しています。（日田市ホームページで閲覧することができます。）



竹田市

環境衛生課

第33回ゴミフ大会

● 5月30日に竹田地区、豊岡地区、玉来地区で地域のごみ拾い活動を行う、「ゴミフ大会」に参加しました。その際、参加者全員に朝顔の種を記念に配布し緑のカーテンの取り組みをお願いするとともに地球温暖化防止の啓発を行いました。



地球温暖化防止街頭キャンペーン

● 平成28年6月 市内スーパーにてマイバック持参等の啓発キャンペーンを行いました。



廃食油を利用したキャンドル作り

● 廃食油を再利用したキャンドル作り体験教室を8月25日開催の健康フェスタ会場で行いました。



参加者の皆さんは、説明を熱心に聞いていました。出来上がったキャンドルは持って帰っていただきました。また、11月18日には竹楽にあわせ廃食キャンドルを作り環境問題について考えてもらおうと観光客にアピールしました。

